

平成30年度行政事業レビューシート(内閣府)

事業名	世論調査等諸費			担当部局	大臣官房			作成責任者	
事業開始年度	昭和22年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	政府広報室			大臣官房参事官事務代理 小堀 厚司	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	内閣府設置法(平成11年7月16日法律第89号)第4条第3項第39号			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国民の基本的な意識の動向及び政府の重要施策に関する国民の意識を公正・中立・正確かつ適時に把握・公表するとともに、政府の重要施策等に対する一般国民の意識・要望などを聴取し、政府施策の企画・立案等に資する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	世論調査のテーマは各府省庁の要望等に基づき、政府の主要施策との関連、施策への具体的な利活用、当該年度に実施する必要性等の観点から検討し、選定している。 調査票等は、希望があった府省庁と協議して作成している。調査結果は、記者レクを行うとともにホームページに掲載している。 調査は、一般競争入札で選定された民間事業者に委託して実施しており、原則として全国18歳以上の者(平成27年度までは原則として20歳以上)から対象者を無作為に抽出し、調査員が個別に訪問し意見を聴取する手法で実施している。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	160	160	160	160	160		
	執行額	137	139	161					
	執行率(%)	86%	87%	101%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	86%	87%	101%						
平成30・31年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	30年度当初予算	31年度要求	主な増減理由					
	啓発広報費	147	147						
	諸謝金	13	13						
	職員旅費	0.3	0.3						
	計	160	160						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 30年度	目標最終年度 -年度
	平成30年度に世論調査結果の各府省の審議会、白書などでの利活用件数を調査件数以上とする。	世論調査結果の各府省の審議会、白書などでの利活用度	成果実績	件	26	24	24	-	-
			目標値	件	19	17	19	18	-
			達成度	%	137	141	126	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	世論調査結果の各府省の審議会、白書などでの利活用度(政府広報室調べ)								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込	
	世論調査の実施回数	活動実績	件	11	10	11	-	-	
		当初見込み	件	11	11	11	11	11	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込		
	世論調査 金額(x)/実施件数(y)	単位当たりコスト	万円	1,136	1,280	1,355	1,264		
		計算式	x/y	125百万円/11件	128百万円/10件	149百万円/11件	139百万円/11件		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムの関係	政策	2. 政府広報・広聴による政府施策の理解、協力の促進							
	施策	③世論の調査							
	測定指標	定量的指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 30年度	目標年度 -年度
		各府省の審議会・白書などでの世論調査結果引用回数 の対調査件数比	実績値	比率	1.4	1.4	1.3	-	-
			目標値	比率	1	1	1	1	-
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
無作為に抽出された回答者への調査を実施することで世論を把握することにより、政府にとって合理的な意思決定を行うための基盤となる重要な情報を提供し、もって政府施策の企画立案等に寄与する。									
<b>事業所管部局による点検・改善</b>									
	項目			評価	評価に関する説明				
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	本事業は、民意を把握し、政府施策の企画立案作業等へ反映させるために、国民の意識や要望を聴取するものである。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	全国の国民の意識を調査し、国の施策の企画立案作業等へ反映するため、国が実施する必要がある事業である。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	政府施策に民意を反映するため、必要かつ適切な事業である。				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	世論調査では、調査をする民間の事業者を一般競争入札によって決定している。				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無					
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無					
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	複数の世論調査を一括して調達しており、業務効率化、支出削減に努めている。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	費目・使途は事業目的に即し真に必要なものに限定されている。				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-				
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			○	複数の世論調査を一括して調達することにより、業務の効率化、スケールメリットによる支出削減に努めている。					
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			○	世論調査結果の各府省の審議会、白書等での活用件数について、目標は達成された。				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	概ね見込みどおり実施した。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	世論調査結果は、本シートのP1(アウトカム)に記載のとおり、各府省の審議会、白書等で政策の分析や検討に十分に活用されている。				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			○	・世論調査は、他府省等からの要望を受けて実施している。実施にあたっては、要望を行った府省等と連携しながら作業を行っているため、他府省等との役割分担は適切である。				
	所管府省名	事業番号	事業名						
点検・改善結果	点検結果	・調査結果の各府省での活用状況が目標を達成するなど、事業の成果は有効に活用されている。 また、一般競争入札で事業者を決定することで、競争性を確保している。							
	改善の方向性	・調達に当たっては、引き続き複数の調査をまとめて一般競争入札を行うなど、予算の効率的な執行に努めることとする。							

外部有識者の所見

平成30年度公開プロセス  
 評価結果: 事業内容の一部改善

- ・内閣府が行う世論調査の目的を明確にした上で、広範に各省庁における利活用の実態を把握するとともに、更に国民に広く利活用されるような手段を講じ、目指すべきアウトカムを設定すべきではないか。
- ・実質的に同じ2事業者のみが入札に参加する状況が続いていることについては、競争性が発揮できていないとの批判もあり得るところであり、参加可能な事業者の意見を聞いた上で、それを反映した方策を講じることにより、早急に改善する必要があるのではないか。
- ・調査手法や分析手法について、民間における世論調査の事例等も参考にしつつ改善に向けて不断の見直しを図るべきである。

行政事業レビュー推進チームの所見

事業内容の一部改善の

公開プロセスの結果を踏まえ、事業の見直しを行い、概算要求に反映させること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

改年度を内検に

- 公開プロセスにおける外部有識者の所見を踏まえ、以下の改善について検討していく。
- レビューシートアウトカムに、従来の白書等への引用件数に加え、新聞への引用件数、ホームページへのアクセス数の追加を検討する。
  - 事業者へのヒアリング等により、より幅広く参加可能となる方策を検討する。
  - 調査手法等の見直しについて、引き続き調査研究を継続し、調査の目的に応じて本格的な導入を検討していく。

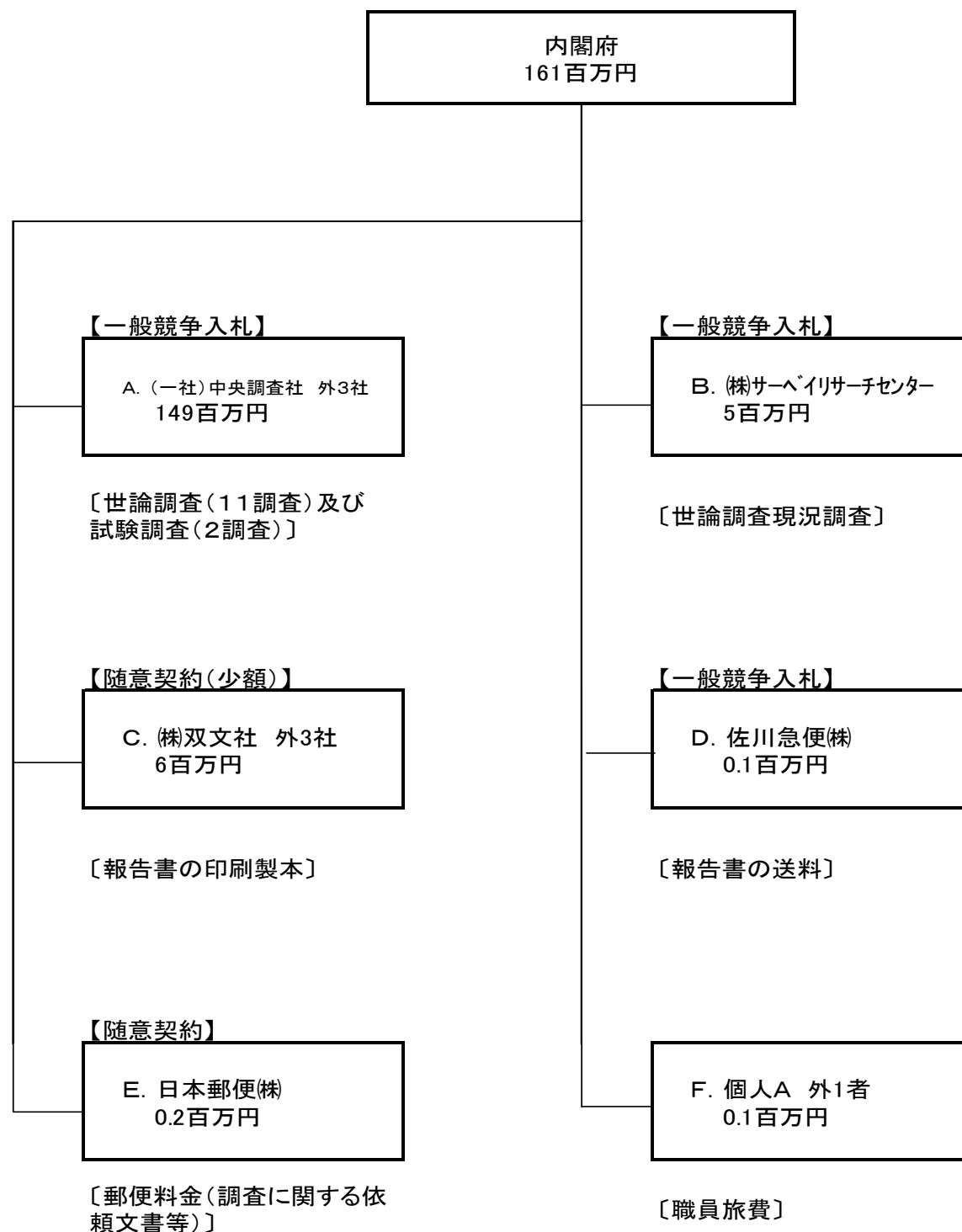
備考

- ・政府広報オンラインURL (<https://www.gov-online.go.jp/index.html>)
- ・落札率は、他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため記載していない。

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	0009	平成23年度	0014,0015,0016	平成24年度	0014	平成25年度	0008
平成26年度	0011	平成27年度	0011	平成28年度	0010		
平成29年度	内閣府 ( 0009 )						

※平成29年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



(注) 端数処理の関係で内訳と合計が必ずしも一致しない。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

A.(一社)中央調査社			B.(株)サーベイリサーチセンター		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務費	事前抽出、調査実施、集計、報告書作成等	88	役務費	調査票整理、集計、報告書作成等	3
人件費	企画、納品物作成等	11	人件費	企画、納品物作成等	1
管理費	一般管理費	10	管理費	一般管理費	1
計		109	計		5
C.(株)双文社			D.佐川急便(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
印刷費	報告書の印刷・製本	2		100万円以下のため省略	
計		2	計		0
E.日本郵便(株)			F.個人A		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	100万円以下のため省略			100万円以下のため省略	
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額が  
 支出されている者  
 について記載す  
 る。費目と使途の  
 双方で実情が分  
 かるように記載)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載  チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(一社)中央調査社	9010005018193	世論調査	109	一般競争契約 (最低価格)	2	-	-
2	(一社)新情報センター	1011005000041	世論調査	28	一般競争契約 (最低価格)	2	-	-
3	(株)RJCリサーチ	6011101082549	世論調査	6	一般競争契約 (最低価格)	5	-	-
4	(株)サーベイリサーチセンター	6011501006529	世論調査	6	随意契約 (その他)	3	-	不落随契

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)サーベイリサーチセンター	6011501006529	世論調査現況調査	5	一般競争契約 (最低価格)	3	-	-

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)双文社	1010001004320	報告書の印刷・製本	2	随意契約 (少額)	-	-	-
2	(株)五月商会	4013301005010	報告書の印刷・製本	2	随意契約 (少額)	-	-	-
3	(株)善光堂印刷所	1010001004155	報告書の印刷・製本	2	随意契約 (少額)	-	-	-
4	(株)アイガー	6011101000106	報告書の印刷・製本	0.5	随意契約 (少額)	-	-	-

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	佐川急便(株)	8130001000053	報告書の送料	0.1	一般競争契約 (最低価格)	2	-	-

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本郵便(株)	1010001112577	郵便料金	0.2	随意契約 (少額)	-	-	-

F

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人a	-	旅費	0.1	その他	-	-	-
2	個人b	-	旅費	0.1	その他	-	-	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	